



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	124,519	△3.2	21,356	9.8	15,123	△26.6	10,110	△30.3
28年3月期第1四半期	128,660	11.9	19,449	20.7	20,592	42.5	14,504	72.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △29,494百万円 (ー%) 28年3月期第1四半期 23,150百万円 (522.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	27.86	25.99
28年3月期第1四半期	38.29	35.83

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	867,658	474,924	54.7	1,307.35
28年3月期	901,685	511,544	56.7	1,408.53

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 474,527百万円 28年3月期 511,252百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	19.00	ー	20.00	39.00
29年3月期	ー				
29年3月期(予想)		20.00	ー	21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	250,000	△3.5	35,500	△9.2	32,500	△9.1	21,500	△20.4	59.23
通期	517,000	△1.5	75,000	△8.2	71,000	△2.9	52,500	3.6	144.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・年間想定レート；1ドル=110円、1ユーロ=125円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	379,760,520株	28年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	16,790,974株	28年3月期	16,790,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	362,969,689株	28年3月期1Q	378,828,928株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)における医療市場では、米国において大手医療機器企業同士の買収の合意がなされるなど、引き続き業界再編の動きが見られました。欧州では、英国における国民投票の結果、欧州連合(EU)からの離脱が決定し、医薬品・医療機器業界への影響が注目されています。日本では、4月に薬価・公定価改定が実施され、財源の重点的・効率的な配分に向けて、費用対効果評価が試行導入されるなど、医療経済性へのニーズが高まっています。

このような環境の下、当社グループでは現在、「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、カンパニー経営を軸に持続的かつ収益性のある、質の高い成長を目指して経営を推進しております。当四半期における主なポイントは以下の通りです。

- 心臓血管カンパニーは、日本では公定価改定、海外では円高によるマイナスの影響を受けながらも、グローバルでカテーテル(TIS)事業が堅調に推移しました。薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」は、フランスに続き、ブラジル、韓国、台湾で販売を開始しました。ニューロバスキュラー事業では、脳動脈瘤治療に用いる新形状塞栓デバイス「WEB」を世界で初めて製品化した米国のSequent Medical社の買収を決定し、6月に買収契約を締結しました。CV事業では、米国子会社テルモカーディオバスキュラーシステムズ社のアナバー工場において、米国食品医薬品局(FDA)による査察を一切の指摘事項なく完了し、6月に全ての販売制限が解除されました。また、再生医療の分野では、世界初の重症心不全治療用の再生医療等製品「ハートシート」の販売を5月下旬に開始しました。
- ホスピタルカンパニーは、日本において閉鎖式輸液システムや輸液ポンプ・シリンジポンプなどの販売が堅調に推移しました。また、外科手術で使用される日本初のスプレー式癒着防止材「アドスプレー」の製造販売承認を6月に取得しました。海外では、欧州、中南米やアジアの一部を中心に低収益事業の縮小を進め、収益性の改善に努めました。
- 血液システムカンパニーは、前期に実施された米国の血液センター向け製品の価格改定に加えて、円高によるマイナスの影響により減収となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

<売上高>

売上高は、前年同期比3.2%減の1,245億円となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	128,660	124,519	△3.2	5.3
売上総利益	69,047	69,726	1.0	10.7
営業利益	19,449	21,356	9.8	21.5
経常利益	20,592	15,123	△26.6	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,504	10,110	△30.3	—

(単位：百万円)

地域別売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	43,986	45,451	3.3	3.3
欧州	25,868	24,737	△4.4	6.6
米州	35,854	32,917	△8.2	4.7
アジア他	22,951	21,413	△6.7	8.4
海外計	84,673	79,068	△6.6	6.3
合計	128,660	124,519	△3.2	5.3

日本では、公定価改定の影響を受けながらもTIS事業の売上が二桁伸長と好調に推移し、増収となりました。海外では、TIS事業が好調に推移しましたが、米国の血液センター向け製品の価格改定に加えて、全社で円高の影響を受け、減収となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、高付加価値製品の販売拡大や原価改善などにより減収をカバーし、前年同期比1.0%増の697億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、売上総利益の増加に加えて、円高の影響により販売費及び一般管理費が減少したこともあり、前年同期比9.8%増の214億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、前年同期は為替差益を計上しましたが、当四半期は円高の影響により為替差損を計上した結果、前年同期比26.6%減の151億円となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比30.3%減の101億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上高	63,195	63,699	0.8	11.7
	(日本)	11,317	12,789	13.0	13.0
	(海外)	51,877	50,910	△1.9	11.4
ホスピタルカンパニー	売上高	39,484	38,383	△2.8	0.3
	(日本)	30,159	30,113	△0.2	△0.2
	(海外)	9,325	8,269	△11.3	1.9
血液システムカンパニー	売上高	25,980	22,387	△13.8	△3.0
	(日本)	2,509	2,499	△0.4	△0.4
	(海外)	23,471	19,888	△15.3	△3.3

<心臓血管カンパニー>

日本では、TIS事業において、Ultimasterなど冠動脈疾患向けの治療用デバイスの販売が好調に推移し、公定価改定によるマイナスの影響をカバーして二桁の増収となりました。海外では、Ultimasterに加えてアクセスデバイスが堅調に推移しましたが、円高の影響により減収となりました。

その結果、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比0.8%増の637億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

日本では、閉鎖式輸液システムや輸液ポンプ・シリンジポンプなどの販売が堅調に推移しましたが、薬価改定に加えて、昨年10月に富士製薬工業株式会社へ造影剤の販売を移管した影響もあり、減収となりました。海外では、欧州、中南米及びアジアの一部を中心に低収益事業の縮小による収益性の改善に注力したことに加え、円高の影響もあり、減収となりました。

その結果、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比2.8%減の384億円となりました。

<血液システムカンパニー>

日本では、血液センター向け製品における顧客の納入時期変更の影響などにより、減収となりました。海外でも、前期に実施された米国の血液センター向け製品の価格改定の影響に加えて、各地域で円高の影響を受け、減収となりました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比13.8%減の224億円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ340億円減少して8,677億円となりました。

流動資産は現金及び預金の増加等により、51億円増加して3,799億円となりました。

固定資産は389億円減少して4,828億円となりました。有形固定資産は68億円減少、無形固定資産は285億円減少、投資その他の資産は35億円減少となりました。

（負債）

負債の部は26億円増加して3,927億円となりました。

流動負債は未払法人税等の支払による減少等により、194億円減少して1,494億円となりました。

固定負債は無担保社債の発行等により、220億円増加して2,433億円となりました。

（純資産）

純資産の部は、366億円減少して4,749億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.0ポイント減少し、54.7%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成28年5月10日に発表した第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想に変更はありません。医療機器・医薬品業界を取り巻く環境の変化や為替レートの動向など、事業環境は不透明な状況が続くことが予想されますが、当社グループは目標の達成に向けて、医療の質と効率の向上に貢献する高付加価値製品の導入及び拡大、さらなる原価改善、販管費の効率的な運用などに注力してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	149,672	166,987
受取手形及び売掛金	104,426	96,696
たな卸資産	96,454	94,402
繰延税金資産	14,963	11,683
その他	10,621	11,398
貸倒引当金	△1,390	△1,305
流動資産合計	374,746	379,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	65,207	62,931
機械装置及び運搬具（純額）	54,362	50,468
土地	23,297	22,867
リース資産（純額）	881	860
建設仮勘定	21,417	21,491
その他（純額）	10,628	10,368
有形固定資産合計	175,794	168,989
無形固定資産		
のれん	143,707	129,361
顧客関連資産	90,750	81,498
その他	56,056	51,135
無形固定資産合計	290,514	261,994
投資その他の資産		
投資有価証券	37,724	32,964
繰延税金資産	3,436	4,776
その他	14,186	14,068
投資その他の資産合計	55,348	51,809
固定資産合計	521,657	482,792
繰延資産		
繰延資産合計	5,281	5,003
資産合計	901,685	867,658



（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,294	34,853
短期借入金	61	10
1年内返済予定の長期借入金	19,839	18,986
リース債務	256	204
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	9,778	3,528
繰延税金負債	56	45
賞与引当金	5,869	2,850
役員賞与引当金	170	37
設備関係支払手形及び未払金	5,451	5,332
資産除去債務	—	298
その他	51,057	43,258
流動負債合計	168,835	149,407
固定負債		
社債	—	30,000
転換社債型新株予約権付社債	100,184	100,172
長期借入金	58,873	57,230
リース債務	286	266
繰延税金負債	45,079	40,908
役員退職慰労引当金	66	14
退職給付に係る負債	8,656	8,341
資産除去債務	230	64
その他	7,925	6,328
固定負債合計	221,304	243,326
負債合計	390,140	392,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	50,928	50,928
利益剰余金	419,573	422,425
自己株式	△64,040	△64,041
株主資本合計	445,178	448,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,308	13,339
繰延ヘッジ損益	△13	△48
為替換算調整勘定	63,182	25,740
退職給付に係る調整累計額	△13,403	△12,531
その他の包括利益累計額合計	66,074	26,498
新株予約権	183	215
非支配株主持分	109	182
純資産合計	511,544	474,924
負債純資産合計	901,685	867,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	128,660	124,519
売上原価	59,612	54,793
売上総利益	69,047	69,726
販売費及び一般管理費	49,598	48,370
営業利益	19,449	21,356
営業外収益		
受取利息	203	117
受取配当金	108	150
受取ロイヤリティー	20	52
為替差益	1,755	—
その他	198	113
営業外収益合計	2,286	433
営業外費用		
支払利息	373	295
売上割引	104	115
為替差損	—	5,484
持分法による投資損失	19	246
たな卸資産処分損	31	3
その他	614	520
営業外費用合計	1,143	6,666
経常利益	20,592	15,123
特別利益		
固定資産売却益	394	1
特別利益合計	394	1
特別損失		
固定資産処分損	4	45
減損損失	350	—
特別損失合計	354	45
税金等調整前四半期純利益	20,632	15,079
法人税、住民税及び事業税	5,719	3,020
法人税等調整額	411	1,972
法人税等合計	6,130	4,992
四半期純利益	14,502	10,086
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△24
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,504	10,110

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）
四半期純利益	14,502	10,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	258	△2,969
繰延ヘッジ損益	5	△29
為替換算調整勘定	8,299	△37,447
退職給付に係る調整額	85	872
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△6
その他の包括利益合計	8,648	△39,580
四半期包括利益	23,150	△29,494
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,152	△29,464
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,195	39,484	25,980	128,660	—	128,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	63,195	39,484	25,980	128,660	—	128,660
のれん等償却除くセグ メント利益	14,112	5,602	5,395	25,110	△571	24,539
セグメント利益	13,659	5,602	758	20,020	△571	19,449
のれん等償却除くセグ メント利益率(%)	22.3	14.2	20.8	19.5	—	19.1

(注) 1. セグメント利益の調整額△571百万円には、たな卸資産の調整額△764百万円、その他193百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）においては350百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,699	38,383	22,387	124,470	49	124,519
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	63,699	38,383	22,387	124,470	49	124,519
のれん等償却除くセグ メント利益	19,510	5,224	2,700	27,436	△1,528	25,907
セグメント利益	19,084	5,224	△1,424	22,884	△1,528	21,356
のれん等償却除くセグ メント利益率 (%)	30.6	13.6	12.1	22.0	—	20.8

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額49百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△1,528百万円には、たな卸資産の調整額492百万円、その他△2,021百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。